



リニューアルされた体育館で優勝を目指し戦う選手たち

新しい体育館で老若男女が大熱戦

■牧之原市ビーチボール大会

相良B&G海洋センター体育館のリニューアルオープンを記念して、市体育協会主催の牧之原市ビーチボール大会が3月13日に開催されました。

誰でも気軽に参加できるニュースポーツとして人気のビーチボール大会には、市内外から14チームが参加。リニューアルされた体育館のコート全面を使って、熱戦が繰り広げられました。

参加した選手たちは「体育館がきれいになってうれしい」と喜びながら、ビーチボールでさわやかな汗をぬぐっていました。

ピカピカのミラーで事故防止

■カーブミラーなど清掃ボランティア

静波野球スポーツ少年団は3月12日、川崎小学校周辺道路のカーブミラーみがきやごみ拾いの清掃活動を行いました。

この活動は、地域の交通事故防止と環境美化に貢献しようと3年前から毎年実施。子どもたちが3班に分かれ、脚立やモップを使い、約80カ所のカーブミラーみがきとごみを拾いを行いました。

遠勢真隆さん（川崎小）は「汚れていたミラーがきれいになって、ドライバーの皆さんの役に立ててよかった」と満面の笑みを浮かべました。



脚立やモップを使いカーブミラーをみがく子どもたち

対場の場を通じて審議し答申

■公共施設マネジメント基本計画に係る答申

自治基本条例推進会議のメンバーが3月30日、市役所棟原庁舎を訪れ、「公共施設マネジメント基本計画の策定に係る施設分類の方向性及び先導的な施設」について答申を行いました。

坂本光司会長は「対話の場を通じて、各界各層の市民と意見を交わし、答申内容を話し合うことができた」とこれまでの審議を振り返りながら市長に答申書を提出しました。

市では、今年の8月頃を目途に、答申内容を基に公共施設マネジメント基本計画をまとめます。



市長に答申書を渡す坂本会長



地元で採れた海の幸を楽しむ来場者

地元で獲れた海の幸を港で堪能

■さがら湊食堂

市商工会産業活性化委員会が駿河湾の恵みを次世代につなげることを目的に初めて企画した「さがら湊食堂」が3月27日、相良港で開催され、市内外から約5,000人が訪れにぎわいました。

会場には、市内飲食店など22ブースが並び、シラス丼やサワラカレー、新ワカメとタイを使った「まきのほら茶づけ」などを販売。また、100食限定で伊勢エビのみそ汁が無料で振る舞われました。

来場者は、口々に「おいしい」と笑顔を浮かべ、地元で獲れた海の幸を堪能しました。



坪池教育長から教育委員会表彰を受ける受賞者

努力した功績をたたえる

■市教育委員会表彰／山崎こども教育賞

学業や文化活動、スポーツなどで優れた成績を残した児童生徒や団体をたたえる「市教育委員会表彰」と、山崎こども教育振興財団主催の「山崎こども教育賞」の表彰式が3月5日、い〜らで行われました。

市教育委員会表彰は、教育の各分野で功績があった35人、3団体が受賞。さらに、全国大会などで好成績を収めた13人には、「少年少女ノーベル賞」が贈られました。

また、山崎こども教育賞では、あいさつや掃除など、他の児童生徒の模範であると評価された26人が受賞しました。

夜間での避難経路を確認

■地震・津波夜間避難訓練

県の津波対策推進旬間に合わせ、夜間地震・津波避難訓練が、東日本大震災の発生した3月11日に市内で行われ、8,650人が参加しました。

訓練は、震度7の巨大地震が発生し、大津波警報が発表されたとの想定で実施され、午後7時ごろにサイレンと同報無線で避難を呼びかけました。

市民の皆さんは、懐中電灯で足元を照らしながら、昨年完成した津波避難ビル「市防災研修センター」や津波避難施設、各地区の避難場所へと避難しました。



高さ12mの商工会館のスロープを登って避難する住民



左から根本さん、村瀬さん、秋山さん（榛原総合病院へ就職）

看護師として新たな一歩

■静岡県中部看護専門学校卒業式

焼津市にある組合立静岡県中部看護専門学校で3月5日、卒業式が執り行われ、看護師になるための知識や技術を学んだ40人が卒業しました。

卒業した秋山香織さんは「患者さんの思いを大切にしたい」、根本美幸さんは「患者さんの気持ちに寄り添いたい」、村瀬恵未さんは「患者さんが療養生活を苦痛なく過ごせるように支えたい」とそれぞれ抱負を語りました。

秋山さん、根本さん、村瀬さんの3人は、4月から榛原総合病院で勤務しています。

ズームイン！
カシャ！！



広報担当がどこにでも取材に行きます。
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp